



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月6日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	2,056	14.2	307	56.6	339	63.1	228	70.0
29年5月期第1四半期	1,800	△1.1	196	0.2	208	△8.5	134	△8.5

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 271百万円 (- %) 29年5月期第1四半期 △38百万円 (- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	30.35	-
29年5月期第1四半期	17.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第1四半期	15,105	12,323	81.3	1,629.52
29年5月期	15,077	12,181	80.5	1,610.76

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 12,274百万円 29年5月期 12,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	-	17.00	-	17.00	34.00
30年5月期	-	-	-	-	-
30年5月期(予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年5月期年間配当金の内訳 第2四半期末 記念配当2円、期末 記念配当2円

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,970	5.4	425	△4.1	475	△4.4	310	△5.4	41.15
通期	8,205	4.6	960	5.3	1,040	0.5	690	△7.5	91.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	7,811,728株	29年5月期	7,811,728株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	279,372株	29年5月期	279,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	7,532,356株	29年5月期1Q	7,532,356株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済においては雇用環境の改善や堅調な個人消費により回復基調で推移し、欧州経済も緩やかな景気回復が続きました。中国経済においては、輸出等に持ち直しの動きが見られるも、安定成長に向けた経済政策運営等により、緩やかな減速基調で推移いたしました。わが国経済ですが、企業収益の改善を背景に、個人消費や設備投資が持ち直しており、緩やかな回復基調で推移しております。その一方で、米国の経済政策動向や、北東アジアの地政学的リスク等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野では、予算の執行が緩やかに進捗中、需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、国内・アジア地域を中心にスマートフォンの高機能化や大容量化、I o Tの進展、また車載デバイスの需要拡大に関連する半導体・電子部品業界向けや、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界向けにおいても設備投資に活発な動きが見られ、レーザ加工機・検査装置への組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は好調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界・医療業界向けや半導体業界向けの組込み用光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域においては、大学・官公庁向け研究開発分野及び産業分野向けの光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、中核技術である光学技術・機械加工技術の高度化と技術融合、レンズユニット等の高付加価値製品の販売強化、ワンストップでのソリューション提案の強化、適正な納期・価格・品質によるお客様満足度の向上に注力いたしました。又、生産の効率化、グローバルサプライチェーンの強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に、引き続き取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20億5千6百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益3億7百万円（前年同期比56.6%増）、経常利益3億3千9百万円（前年同期比63.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千8百万円（前年同期比70.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野では、予算の執行が緩やかに進捗中、需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野の製造・検査装置組込み用では、国内における研究開発投資や設備投資に回復の動きが見られた結果、需要は堅調に推移いたしました。国内・アジア地域を中心にスマートフォンの高機能化や大容量化、I o Tの進展、また車載デバイスの需要拡大に関連する半導体・電子部品業界向けや、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界向けでは、レーザ加工機・検査装置への組込み用自動位置決め製品及び光学素子製品の需要が堅調に推移いたしました。米国地域を中心にバイオ・医療業界向けや半導体業界向け、光計測業界向けの組込み用光学基本機器及び光学素子製品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域の研究開発分野及び産業分野向けの光学素子製品の需要は堅調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は16億2千8百万円（前年同期比5.1%増）となり、営業利益は3億2千5百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、民間企業向け研究開発分野では、国内産業分野における研究開発投資・設備投資に回復の動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。産業分野では、国内・アジア地域を中心に、スマートフォンの高機能化や大容量化、I o Tの進展、また車載デバイスの需要拡大に関連する半導体業界向けや、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用レンズユニット等の光学ユニット製品の需要は好調に推移いたしました。バイオ業界向けは、光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品の引き合いが緩やかながら増加傾向にあります。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は4億3千6百万円（前年同期比73.7%増）となり、営業利益は1億1千1百万円（前年同期は営業損失3千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、90億2千4百万円となりました。これは、現金及び預金が1億5千4百万円減少し、棚卸資産が7千4百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、60億8千万円となりました。これは、投資有価証券が4千9百万円増加し、機械装置及び運搬具が2千万円、建物及び構築物が1千3百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、151億5百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、18億2千8百万円となりました。これは、賞与引当金が9千6百万円増加し、支払手形及び買掛金が9千4百万円、未払法人税等が6千3百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、9億5千3百万円となりました。これは、長期借入金が3千6百万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、27億8千1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、123億2千3百万円となりました。

自己資本比率は、81.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,212,720	3,058,068
受取手形及び売掛金	1,859,392	1,899,364
電子記録債権	445,581	492,726
有価証券	1,138,589	1,137,794
商品及び製品	903,004	926,484
仕掛品	279,871	335,706
原材料及び貯蔵品	950,302	945,545
繰延税金資産	126,417	148,028
その他	74,935	84,881
貸倒引当金	△4,490	△4,501
流動資産合計	8,986,325	9,024,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	875,987	862,903
機械装置及び運搬具(純額)	470,527	450,514
土地	1,318,843	1,318,843
その他(純額)	111,929	121,367
有形固定資産合計	2,777,289	2,753,629
無形固定資産		
その他	150,050	150,006
無形固定資産合計	150,050	150,006
投資その他の資産		
投資有価証券	685,027	734,790
繰延税金資産	194,977	185,027
投資不動産(純額)	2,011,884	2,001,179
その他	275,669	260,473
貸倒引当金	△3,971	△4,171
投資その他の資産合計	3,163,586	3,177,298
固定資産合計	6,090,925	6,080,935
資産合計	15,077,250	15,105,033

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	993,965	899,233
短期借入金	180,200	197,200
未払法人税等	199,571	136,141
賞与引当金	5,613	102,514
役員賞与引当金	15,500	—
受注損失引当金	13,244	16,505
その他	571,224	476,940
流動負債合計	1,979,320	1,828,535
固定負債		
長期借入金	187,000	223,700
退職給付に係る負債	652,529	652,728
その他	76,879	76,879
固定負債合計	916,409	953,308
負債合計	2,895,730	2,781,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	6,420,304	6,520,926
自己株式	△204,094	△204,094
株主資本合計	11,931,711	12,032,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,694	165,215
為替換算調整勘定	117,879	131,113
退職給付に係る調整累計額	△56,415	△54,482
その他の包括利益累計額合計	201,158	241,847
非支配株主持分	48,649	49,008
純資産合計	12,181,520	12,323,189
負債純資産合計	15,077,250	15,105,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	1,800,012	2,056,170
売上原価	1,102,480	1,176,383
売上総利益	697,531	879,786
販売費及び一般管理費	501,377	572,549
営業利益	196,153	307,237
営業外収益		
受取利息	3,185	3,155
受取配当金	150	80
不動産賃貸料	24,189	26,791
持分法による投資利益	12,025	13,631
その他	5,409	11,256
営業外収益合計	44,960	54,913
営業外費用		
支払利息	545	636
不動産賃貸費用	19,193	18,499
為替差損	12,891	—
その他	157	3,230
営業外費用合計	32,788	22,367
経常利益	208,325	339,783
特別利益		
固定資産売却益	—	506
保険解約返戻金	—	6,877
特別利益合計	—	7,383
特別損失		
固定資産売却損	—	374
特別損失合計	—	374
税金等調整前四半期純利益	208,325	346,793
法人税、住民税及び事業税	89,059	140,640
法人税等調整額	△16,371	△23,533
法人税等合計	72,688	117,106
四半期純利益	135,636	229,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,119	1,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,517	228,672

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	135,636	229,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,620	25,521
為替換算調整勘定	△187,997	13,872
退職給付に係る調整額	1,896	1,933
その他の包括利益合計	△174,479	41,327
四半期包括利益	△38,843	271,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,333	269,360
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,509	1,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,549,402	250,609	1,800,012	—	1,800,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	437	698	1,135	(1,135)	—
計	1,549,839	251,307	1,801,147	(1,135)	1,800,012
セグメント利益(又は損失)	330,595	(34,061)	296,533	(100,379)	196,153

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△1,135千円、全社費用△99,244千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,622,626	433,544	2,056,170	—	2,056,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,819	2,955	8,775	(8,775)	—
計	1,628,445	436,500	2,064,946	(8,775)	2,056,170
セグメント利益	325,305	111,367	436,673	(129,435)	307,237

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△8,775千円、全社費用△120,660千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。